

令和5年度 大阪府子どもの生活に関する実態調査【羽曳野市】の

回答集計（単純集計）結果について（概要）

○目的

子どもの貧困対策計画（R7～5カ年）策定の参考とするため、子どもの生活実態、学習環境や保護者を含めた支援ニーズ等を把握する。

（大阪府と羽曳野市含む 18 市町が共同実施）

○調査対象・方法等

対象者：小学5年生の子ども及び保護者≪833 世帯（1,666 人）≫

中学2年生の子ども及び保護者≪814 世帯（1,628 人）≫

調査方法：市立小・中学校にて、配布・郵送回収

実施時期：令和5年7月上旬～7月31日

○回収率（確定）

小学5年生 26.8%（回収数 223/web 回答 7.8%/紙回答 19.0%）

小学5年生の保護者 25.9%（回収数 216/web 回答 7.3%/紙回答 18.6%）

中学2年生 25.4%（回収数 207/web 回答 10.0%/紙回答 15.5%）

中学2年生の保護者 24.1%（回収数 196/web 回答 8.8%/紙回答 15.2%）

○主な質問と回答内容

《小学生・中学生》

- ・生活習慣、家庭での過ごし方、学校生活、放課後の過ごし方、学習環境、自分自身に関する事、居場所、ヤングケアラー関係等

《保護者》

- ・家族の状況、子どもとの関係、相談相手や相談先、コロナウイルス感染経験等

※回答内容については、別紙「子どもの生活に関する実態調査～学年別集計結果～」を参照ください。

※引き続き、クロス集計分析を実施中。